

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」尾張旭校		
○保護者評価実施期間	6年 11月 1日 ~ 6年 12月 18日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	6年 11月1 日 ~ 6年 11月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	6年 12月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児発の契約数を伸ばし、利用者にニーズに合った支援を行う。	受給者証発行手続き中は体験として繋いでおり、契約に繋がっているため、相談支援所や保護者に喜んでいただいている。相談支援所から多くの紹介を頂いて折、支援数を伸ばしている。	指導員の負担にならない様に配慮し、利用者の特性に合わせた支援を行い、専門性に特化した支援に努める。
2	専門性の高い支援を行う。	支援内容の説明とほとんどの保護者に支援を直接同席して見学して頂いている。未満児の利用増で利用者の特性や保護者の不安の軽減を図っている。	各指導員の特色を活かし、専門性、質の高い支援を行っている。事業所内で特性について意見交換を行い、支援に繋げていく。
3	スペースを利用した取り組み	個別の支援室が5個あり、他に広い共有スペースがあるため、支援後にボールやトランポリンを使った取り組みやジャングルジムを設置しているので、児発の利用者に喜んでいただいている。	イベント等の取り組みに共有スペースを使用しているが、もっと合理的な取り組みができるようにプログラミングして行く。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所や地域との交流が少ないため今後、機会を増やしていく。	現在は地域や他事業所との交流は行っていない。	他保護者とのかかわりを持つことで、同じ悩みや状況の共有ができ、意見交換が行える場を設ける。他事業所と交流を持ち、言語聴覚士等のアドバイスなどを受けられる体制を整える。
2	保護者同士の情報交換の場がない。ママカフェや保護者同士が交流できる機会を設ける。	保護者の不安や要望をしっかりと聞き、助言しているが情報交換の場がない。イベントは年に数回しかないので、保護者同士の意見交換の場が無い。	他保護者とのかかわりを持つことで、同じ悩みや状況の共有ができ、意見交換が行える場を設ける。社内の他事業所と交流を持ち、言語聴覚士等のアドバイスなどを受けられる体制を整える。
3	バリアフリー化が出来ていない。	事業所が2階にあり、物理的に階段を使用しなければ入口に来れない。防災などの点を考えると危険性は残る。安全に移動できるように滑り止めや点検などを行っている。	移転も有りだが現実的ではない。階段を安全に利用者が移動できる方法の模索と周知をして行く。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」尾張旭校				公表日	2025年 2月 15日		
						利用児童数	13	回収数	8
		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	0	0	0			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1	0	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	0	1	0		2階に事業所があるため、バリアフリー化は出来ていない。事業所内は出来ているため、今後は検討していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	1	0	0			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	1	0	0			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	0	0	0			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	0			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	1	0	0			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	1	1	1		満足して頂いていない利用者があるのであれば、職員全員で振り返り検討していく。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	1	0		現在は交流の場は設けていない。今後は機関が有れば行って行く。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	2	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1	1	2		家族支援にて個々の相談の機会はあるが、ペアトレとして行っていない。今後は研修や情報提供の機会を検討していく。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7	0	1	0			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	1	1	1		フィードバック時に指導員とは別に保護者と話をしたり家族支援として相談や助言を行っているが、行き届いていないのであれば、広げていく。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	1	0	0			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	1	3		年間を通して数回のイベントを開催している。兄弟や知人の参加もするが少数にとどまっている。声掛けをしっかりと行って行きたい。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	0	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1	0	0	その日の子供の様子など、丁寧に伝えてくれる。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	1	0	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	1	1		個人情報は鍵付きロッカーに保管しており、留意している。実績表にサインをして頂く際、他利用者の氏名が見えるときがあるため、今後は工夫していく
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	0	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	0	1	5		事業所内に避難経路などは必要な掲示物として明確にしている。訓練は職員のみでの実施になっている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	1	1		利用者の安全には十分に注意し指導員にも周知しているが、更に徹底していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	0	0	4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	0		自ら進んで入っていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」尾張旭校	公表日	2025年 2月 15日
------	--------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			支援室は全て個室になっているが声は聞こえる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		基本人員配置、加算人員配置を含めて適切に配置されている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	事業所が2階にあるため、どうしても階段を使用することになる。 電気設備が暗く、保護者からクレームも頂いているので、12月に電気工事実施した。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		支援室は全て個室になっており、共有スペースもあり、運動に使用している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		各支援に応じて指導員が臨機応変に支援室を決めている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		モニタリング、担当者会議、計画作成と児発管、指導員と相談検討しながら進めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		管理者より指導員に共有。反省事項の検討、改善を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日、ミーティング実施しており、利用者、業務に付いての意見を出し、検討している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		評価表を集計後、職員に共有し意見について反省と改善を話し合い、事業所内に掲示している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		各研修に可能な限り参加し、支援の質の向上とコンプライアンスの周知に努めている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援終了後のフィードバック時に保護者に指導員より説明している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		6ヶ月に1回のモニタリングを行い、保護者の要望、利用者への支援内容を計画書に反映させている。モニタリングのみでなく随時、保護者と相談、話しができる環境を整えている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		児発管は6ヶ月に1回のモニタリングを行い、保護者の要望、利用者への支援内容を計画書に反映させている。モニタリングのみでなく随時、保護者と相談、話しができる環境を整え、指導員はフィードバック時に説明している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画書の更新時に指導員は把握し、支援に反映させている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		適時、確認しながら進めている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		利用者の特性に沿った支援内容、家族支援に基づき保護者や関係機関との連携を図り、必要な項目を計画書に載せている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		ミーティング実施時に検討している。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		ミーティング実施時に検討している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		通常は個別支援のため、小集団はイベント時に行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		ミーティング実施時に検討している。 指導員の変更等適時、臨機応変の行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	ミーティング実施の際、利用者の共有事項として確認しているが、毎日ではない。	必要事項は共有されているが、更なる詳細を共有できる時間を設けることを改善していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		ミーティング実施時に確認、必要事項を検討している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		適切に行われ、更新させている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		必ず、児発管と担当指導員が参加するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必用に応じて、関係機関と連携している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		家庭連携として関係機関に訪問し、連携を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		家庭連携として関係機関に訪問し、連携を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1	発達支援センターから利用者の紹介を受けており、連携しながら行っている。	県や他研修に参加できるように調整できるように検討していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	家族連携で訪問している。 利用者の運動会や学芸会に見学に行くと利用者喜んでもらっている。	一部の利用者の交流に留まっているため、幅広く交流ができるように改善していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		保護者の要望、利用者への支援内容を計画書に反映させている。モニタリングのみでなく随時、保護者と相談、話しができる環境を整え、指導員はフィードバック時に説明し、理解を得ている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	現在は行っていない。今後、対象研修を保護者に紹介できるように検討していく。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		利用者の意見や様子を指導員より随時確認し、モニタリング時に保護者の要望や意見を確認。計画書に反映させている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		個別支援計画書に確認、同委のサインを頂いている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		家庭連携の観点から事業所内相談などを必要時に行い助言を行っており、内容を反映させて支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	季節によりイベントを行っており、その際は保護者や兄弟も参加している。	保護者同士の交流や意見交換ができる機会は年に数回しかないので、より多くの機会がでて言出来るように検討していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		適切に対応できている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		HPやブログなどを定期的に発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		必ず、鍵付きロッカーにて保管し、常に留意している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		個々の特性に合わせて配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	イベントには利用者だけでなく、家族や知人も参加して頂いている。	地域の方を招待する機会を設けていないため、地域のシステムなどを理解できるようにして行く。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルは各項目整備させており毎月、テーマに沿った訓練を実施、周知。議事録に残している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPを作成し、テーマに沿った訓練を毎月行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		対象利用者もおり、確認、周知できている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		食事は提供していない。 契約時にフェイスシートに必要事項を記入して頂く。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画は作成しており、安全に支援を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画は作成しており、契約時に避難場所などの周知をしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		必用事案があった場合に書類を作成し、職員全員に周知している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		本部より定期的に研修が行われ、適切に対応している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		本部より定期的に研修が行われており、契約時に説明を行ったうえで対象利用者には個別に説明を行っている。		